

# 新たな移住定住対策はじめます

の役割を果たさせてみませんか？

絡ください。

新たな移住定住対策で、町の活性化を図りましょ

「田舎暮らしお試し  
ホームステイinなんぶ」

あります。本町でも空き家が

目立つておおり、対応が必要となっています。

現在、鳥取県の空き家率が約15%となり全国第7位となっています。（平成20年住宅土地統計調査）空き家を放置すると老朽化がすすみ景観を害するばかりか、いずれは倒壊等の危険も

また、南部町の人口は平成17年国勢調査で12070人でしたら、平成22年国勢調査では11536人に減少しています。

人口は減っていますが、南

部町での暮らしを求めて移住の相談や空き家情報の問い合わせの件数は、ここ数年増加しています。

## 住宅を改修し 賃貸住宅として活用

增加する空き家と  
移住希望者とのミスマッチ

町では空き家となっている住宅を10年間借り上げ、修繕し、賃貸住宅として希望者に貸し出す制度を創設しました。

10年後には元の所有者に修繕後の状態でお返しします。思い出のある大切な住居をこのまま放置しておくよりも、修繕して人に貸し、その間は大切に住んでいただけるこの

うのはしのびない」というような問題があります。そういう問題を解決するために、町は新たな制度を創設しました。

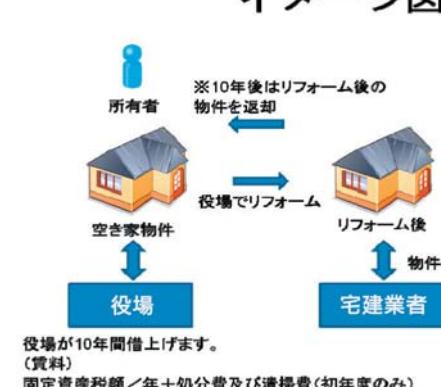
うな問題があります。そういう問題を解決するために、町は新たな制度を創設しました。

南部町では、ホームステイをしながら南部町での生活を体験できる「田舎暮らしお試しホームステイinなんぶ」に取り組みます。

これは、田舎暮らしや農業体験など、南部町に関心のある人に実際に町内の生活を体験していただき、将来の移住定住に繋げてもらうことや、人々の交流の促進による町の活性化を目的としています。

現在、このホームステイ制度にご協力いただける世帯を募集しています。（町からは協力金として日額500円支払います。）

使用していない離れがある、子どもが独立して部屋が空いているなど、受け入れにご協力いただける方は、ぜひご連



地域に新たな風と  
移住定住対策を！

あります。本町でも空き家が目立つておおり、対応が必要となっています。

また、南部町の人口は平成17年国勢調査で12070人でしたら、平成22年国勢調査では11536人に減少しています。

人口は減っていますが、南部町での暮らしを求めて移住の相談や空き家情報の問い合わせの件数は、ここ数年増加しています。

